

HIWIN®

NEWS LETTER

No.2
2024年
8月発行

井吹の丘小学校の児童 20 名が神戸本社工場を見学 ～次世代の担い手としてハイウインの舞台裏を見て、学んで、体験～

6月18日（火）、井吹の丘小学校（神戸市西区）の6年生児童20名・教員1名が社会科見学に来てくださいました。児童たちが学習テーマである「業務内容・環境問題への取組み・働きがい」について学んだ様子をお伝えします。



見て学ぶ：工場の舞台裏を覗いてみよう！

▼社会で活躍する HIWIN 製品

最初に、営業部門の担当者から皆さんへ事業内容と HIWIN 製品について案内を行いました。工場での自動化に貢献している「直動製品」「産業用ロボット」や、高層ビルの屋上に設置され、地震からビルを守る「制震装置」など、普段の生活では見えない場所で活躍している製品について分かりやすく説明。

また、日本法人を1999年に神戸に設立した背景として、海外との貿易拠点になる神戸港のある神戸を選んだこと、その後、日本に根を張りよりお客様のニーズに応えるために、2022年に最先端の技術を扱う企業が集まるサイエンスパーク（神戸市西区）に移転し、工場と研究開発機構を備え

た本社工場として拡大したことを説明しました。

▼工場内見学

その後、聞きなれない大きな音、見た事の無い大きな部品や機械のある中、安全に配慮しながら工場内を見学。直動製品の一つであるリニアガイドウェイの組立て工程について工場の担当者が説明し、普段見る事の出来ない当社の舞台裏を見学して頂きました。



積極的に手を挙げて参加



工場内を一列で歩く様子



工場内部を案内

ESG：「持続可能な社会を目指して」

▼自然との共生を目指した取り組み



鳥達が良く来る場所を案内

続いて、管理部の担当者から環境に配慮した取り組みを紹介。HIWINとして2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた目標や、自然共生を目指した企業として、台湾本社と日本法人の取り組みを説明し、実際の取り組み現場を見て頂きました。二酸化炭素排出量を削減するため、昼食時は工場内や事務所内の照明を自主的に消し、エアコンは温度設定を

守って使用することを従業員全員で取り組んでいること、屋上には緑の芝生で覆われている鳥たちが訪れるエリアがあり、自然共生に配慮した会社である事も説明。

児童の皆さんは日々の学習を通して環境問題に対して大変よく理解されており、メモをしたり写真を撮りながら説明に耳を傾けていました。



事務所で働く様子を見学

体験：産業用ロボットとバトル！スピードと精度を競うパズルゲーム！

▼白熱！ゲームに大盛り上がり！



ゲーム中の様子

工場見学では、ロボット担当者が案内を務め、実際に動いているロボットや製品を説明。その後、「産業用ロボットと勝負！」ということで、当社マスコット「HIWINアンバサダー」のマグネットを、同じ「HIWINアンバサダー」の形をしたフレームの上にかに早く正確に移動させることが出来るかをロボットと競争。普段の生活では見る事が無い産業用ロボットのスピードや正確さを間近で見学していただき

ながら、どんな働きをしているのかをゲーム感覚で楽しみながら体感していただきました。生徒の皆さんだけでなく教員の方や当社従業員も勝負の行方に一喜一憂し、工場見学で一番の盛り上がりを見せました。見学最後の従業員への質問の時間には、「なぜ、この会社を選びましたか？」や「どんな時にやりがいを感じますか？」と質問いただき、皆さん積極的に学ばれていました。



協力しあってロボットと対決

次世代のものづくりの担い手に向けて

▼働きがいにつながる社会貢献

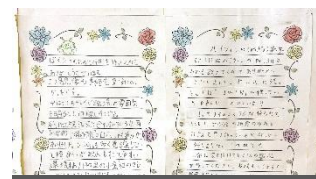
工場見学を通して、私たちの働きがいは安全に貢献する製品作りに携わっている事や、産業用ロボット・自動化システムの導入で人材不足を解決し、生活を守るお手伝いに繋がっている事である点をお伝えできました。



リニアガイドウェイの動作体験

▼「次世代ものづくりを支える」

社会科見学後に小学生の皆さんが送ってくださった手紙には、HIWINのイメージとして「SDGsや環境に配慮する企業」という言葉が多く見られ、当社の取り組みを正しく理解して下さっており、皆さんの環境問題への関心の高さを感じられました。



お礼の手紙が届きました

本件に関するお問合せ先

ハイウイン株式会社 マーケティング企画課 e-mail: kikaku@hiwin.co.jp TEL: 078-997-8827 (代表)